



Yonago East Weekly

創立 / 1968年4月24日 事務所 / 米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 (0859)32 5531
 例会日 / 水曜日12:30 ~ 13:30 例会場 / ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 (0859)33 0911
 会長 / 新納哲雄 幹事 / 小谷維夫 会報 / 永島清孝 提供 / 東京印刷

出席報告

会員数76名 出席数 47名 欠席数 23名
 出席免除会員 6名(荒川(雄)君、村上君、田中君、松本(正)君、新宮君、永島(武)君)

出席率 68.49%
 前回補正出席率 3/19 75.34% 3/12 78.08%

欠席者

芦立君、足立君、藤尾君、深田君、秦野(一)君、細田君、勝部君、前田君、松本(啓)君、松浪君、永見君、長棟君、野坂(裕)君、野津君、尾沢君、坂口君、杉本君、田村君、寺崎君、内田君、植田君、吉野君

ビジター

メーキャップ

種田君(3/24米子南)、豊嶋君、瀧井君、池淵君、植田君(3/25境港)

今週のお祝い

結婚記念祝: 9日杉本真吾君、12日木美俊彦君、21日長棟信泰君

スマイルBOX 7,000円 (累計803,500円)

結婚記念祝君: 木美君、夫人誕生祝: 佐田山君、本人誕生祝: 種田君

会長挨拶

本日は、日本と韓国について気が付いたことを話させていただきます。

先月2月25日、李明博、韓国大統領の就任式が行われました。大統領演説では日韓関係は未来志向で対処し、いつまでも過去に縛られて未来に進む道を遅らせてはならない。李明博大統領は日本に対して事理重視の実用主義で臨み日韓関係修復を目指す考えを改めて明白にしておられます。経済関係を発展させたいということでこれから両国の関係は良い関係になるのではないかと感じます。20年ほど前に西部歯科医師会と韓国の全羅北道の歯科医師会と姉妹提携をしたことがあります。記念品を贈るわけですが、組織とか団体になりますとメンツとかがあって事が難しくなることがあります。この場合双方の記念品の送り物は物を贈っただけで一番大切な心を合わせて送ることを忘れていたような感じがしました。昨年5月にはロータリー2690地区と韓国の3680地区との姉妹提携がありました。さすがにロータリーは配慮と謙虚な態度が溢れていると感じました。日韓ワールドカップを開催したことは世界的に大変評価されました。両国のいろいろな問題を一つ一つ解決し開催にこぎつけたことは大きな意義がありました。韓国屈指の知日派であるチ ミョンガン氏

は竹島や歴史教科書や靖国の問題に対し、新しい展望が示せないならばそれを政治問題にしないようにすべきだと言っておられます。ロータリーで言う広い心で時には両国が相手を許し認めることが大切ではないでしょうか。将来に亘って友好を保つには一時の感情に流されること無く相互の異なった文化をもっと知ることによってお互いが十分理解し信頼関係を心から築くことが重要だと思います。

幹事報告

1. ローターレート変更通知

4月より 98円/ドル

3. 例会変更通知

倉吉RC	4月22日(火)	夜間例会
	29日(火)	休会
	5月6日(火)	休会
	ビジター受付は4/22のみ	
鳥取北RC	4月15日(火)	休会
	29日(火)	休会
	5月6日(火)	休会
	ビジター受付なし	



ROTARY SHARES ローターは分かち合いの心

プログラム

「ガバナー補佐報告」

第2グループガバナー補佐 宮本 守 君

ガバナー補佐として各クラブを訪問させて頂いて気が付いたことや、ロータリーとはどんなものか、ロータリーの伝統など若い人達に知っておいて欲しいこととか、直すべきところ等を言わせて欲しいと思います。今回、IMのお願いもあり第二グループのロータリーを回らせて頂きました。今まで私自身メーキャップで例会に出席してみると、そのクラブ独特の文化伝統がありひじょうに勉強になることがありました。このたびガバナー補佐訪問ということで各ロータリーの例会に出席してみてもクラブの特徴伝統があり、またまだ分かっていないようなところもありました。ホームクラブ訪問の場合はたいした気遣いはされないわけですが、ガバナー訪問の際に間違った対応をすると「このロータリーは何だ」ということになる。ガバナーの手引き、ガバナー補佐の手引きというものがあってこれを読んでみるとひじょうに細かいことが載っています。その中に「公式訪問したときに心からもてなされたか」という項目があります。これはどういうことかと言うと、受付で「このだれが来たのか」という感じと、会長・幹事が玄関でお迎えをし「今日のご苦労様でございます」という感じでは全然違う。ガバナー・ガバナー補佐とけじめをつけた心遣いをしないとだめです。これがロータリーの思想ではないでしょうか。ロータリーの友情に免じてということがありますが、その前にロータリーの原理原則がありそれを実行してそのロータリーの伝統あるブランドを大事にしてゆかなければいけない。そうでないところは良くしていかなければいけない。これがロータリーが続いてゆく原理原則ではないでしょうか。こうした思想が守られているから100年以上も続いている。戦時中ロータリーは解散しました。その時もまた阪神神戸大震災の時も直後から例会を開きました。にもかかわらず多くの会員が例会に集まりました。これは何でしょう。これはロータリーの思想がきちっと成り立っているからだだと思います。次に、各ロータリーを歩いた感じですが、米子中央ロータリーさんと境港ロータリーさんは例会の雰囲気はままとまっています。テーブルが5つほどしかない。人数は少ないがそんな気はしなしない。我がクラブは9テーブルあるがこれを7テーブルにするともっと雰囲気が変わるかもしれない。各ロータリーの活動についてですが結構活発な活動をしておられます。「里山保全」とか「日野川源流の緑を守ろう」で植樹をしておられます。クラブ活性化にはどのように取り組んでいるかと申しますと、同好会にも特徴があり米子南クラブさんでは、ゴルフ・野球の他に文化的な同好会もあり俳句の会・旅行の会とか結構活発にやっておられます。文化的な活動であれば年齢差に関係なくできて活性化できると思います。会員の平均年齢は、増強しないと若くなりません。我がクラブは、平均59歳、米子クラブさんが62歳で今若い人を入れる増強をやっておられます。増強しないと平均年齢は上がるばかりです。何とか50歳代にしたい。これは停滞することなくやっていると活性化が出来ない。地区の報告では67ロータリーある中で、増強では三分の一がプラス、三分の一が変わらず、後の三分の一が減っているそうです。例会に出るときは、ネクタイをしなさい・バッジは付けていますか、遅刻・早退はSAAにお断りしておく、欠席は前もって事務局へ連絡をしておく、などをきちっとするのがロータリーでしたがそれがだんだん忘れられてきている。メーキャップに来た人を「もてなす気持ち」があるでしょうか。受付以外の親睦委員会は例会の入り口のところで並んでお迎えするのが原則だった。それが出来なくなってきているということは、教える人がいなくなった。「うるさく言うと嫌われる」と勝手に思っているのではないのでしょうか。うるさく言う人がいないとロータリーの伝統は無くなってしまわないのでしょうか。来た人から食事をするクラブもありましたが、これは「もてなす」という気持ちになれないと思います。IMでは、来られた人に「いかに気遣い・出迎えの気持ちを大切に」各担当者の方、協力してやって欲しいと思います。時間が来ましたので以上で終わります。有り難うございました。

ロータリーへの想い

〈 原稿提出のお願い 〉

会報リーダー 永島清孝

7月から、毎週、週報に「ロータリーへの想い」を掲載しておりますが、現在、提出が全くありません。早期の提出は大歓迎ですので、順番関係なく、皆様からの提出をお待ちしております。どうぞ、ご協力宜しくお願い致します。

次回プログラム

4月2日 「ロータリーの友紹介」 雑誌委員
「市制報告について」 尾沢三夫君
9日 「ドイツを語る」
ドイツを語る会 事務局長 渡辺真知子氏

4月16日 「介護について」
前畑祥子君
23日 「東京マラソンに参加して」
上森英史君